

平成30年度 事業報告書

平成30年度は、より多くの市民に文化芸術を身近に感じ、親しんでもらうため、アンケート調査の結果等を参考に事業内容や実施方法を創意工夫し、特に次の3点に重点をおいて事業を実施した。

- ・子どもを対象とした事業の拡充
- ・他都市文化芸術団体や劇場との連携強化
- ・市民芸術祭の認知度向上に向けた取り組みの推進

上記を踏まえ、①文化芸術に親しむきっかけづくり ②市民の文化芸術活動の支援 ③情報発信事業の推進の3つの柱で事業を展開した。

また、当財団が実施する事業を広く市民に周知するための広報活動や、文化芸術活動を担う人材の育成にも取り組んだ。

第1 文化芸術に親しむきっかけづくり

1 子ども文化芸術事業（決算額 17,205千円）

参加者・来場者：延べ5,418人

小学校に国内外で活躍するアーティストを派遣する「アーティストと出会う」事業では、新たに、日本伝統文化として筑前琵琶、国際文化として馬頭琴と西アフリカの伝統芸能を加えてプログラムを拡充し、実施校も前年度の43校から50校に拡大して、子どもたちが文化芸術を鑑賞・体験する機会を創出するとともに、文化芸術の魅力を伝えることに取り組んだ。

公募した児童が演劇作品を創作するワークショップ「アーティストとつくる」では、ファシリテーターとして育成した地元アーティストだけで初めて実施し、実践を通じた人材育成を行った。

また、親子芸術体験事業では、子どもも大人も楽しめるダンス公演を他都市文化芸術団体や劇場と連携して実施し、質の高い文化芸術に触れる機会を創出した。

(1) 子ども文化芸術魅力発見事業（決算額 7,828千円）参加者・来場者：延べ5,137人

①小学校へのアーティスト派遣「アーティストと出会う」参加者：50校 / 4,931人

【音楽】

内 容：三重奏、マリンバ、サクソフォン

アーティスト：OnPal, 福岡青年音楽家協会, 九州管楽合奏団

実施校：6校

実施学年：小学1年, 3年, 6年生

参加者数：458人

【ダンス】

内 容：パントマイムをベースにしたダンス，オリジナルダンス作り
アーティスト：カンパニーデラシネラ，古家優里氏，真崎千佳氏ほか
実 施 校：8校
実施学年：小学1年～6年生
参加者数：597人

【演劇】

内 容：演劇創作の過程を通じたコミュニケーションワークショップ
アーティスト：田上 豊氏，有門正太郎氏
実 施 校：2校
実施学年：小学5年・6年生
参加者数：66人

【日本伝統文化】

内 容：能，狂言，和太鼓&篠笛，箏，筑前琵琶
アーティスト：福岡市能楽協議会，和楽団ジャパンマーベラス，箏曲鶯絃会，
尾方蝶嘉氏，高木青鳳氏，青山旭子氏
実 施 校：20校
実施学年：小学1年～6年生
参加者数：2,033人

【国際文化】

内 容：韓国伝統芸能，馬頭琴，西アフリカの伝統芸能
アーティスト：韓ソリ，ドラム馬頭琴楽団，GEKIDAN☆AFRICA
実 施 校：14校
実施学年：小学1年～6年生
参加者数：1,777人

②公募型ワークショップ「アーティストとつくる」

参加者：延べ187人

(うち発表会来場者:73人)

子どもたちのさらなる芸術文化活動への自発的・意欲的な取り組みの促進を目指して，地元で活躍する脚本家・俳優・ダンサーが企画・進行を行う演劇創作ワークショップを実施し，発表会を最終日に行った。

開 催 日：平成30年8月6日（月）～11日（土）

会 場：パピオ ビールーム

アーティスト：川口大樹氏，横山祐香里氏，真崎千佳氏，田村さえ氏，小笠原 萌氏，
山崎瑞穂氏，西山明弘宏氏

対 象：小学4年～6年生

参 加 料：3,000円（発表会観覧は無料）

- ③ファシリテーター育成講座 参加者：延べ14人
公募型ワークショップを地元アーティストだけで企画・進行できるよう、前年度から取り組んできた講座の仕上げとして、専門学校生をモデルとしたデモワークショップを実施した。
開催日：平成30年4月19日（木）～20日（金）
会場：パピオ ビールーム
対象：公募型ワークショップを企画・進行する地元アーティスト
講師：田上 豊氏

- ④「アーティストと出会う」人材育成講座 参加者：5人
地元アーティストを対象とした、小学校へのアーティスト派遣事業を担う人材の育成に取り組んだ。
開催日：平成30年10月3日（水）
会場：パピオ ビールーム
対象：地元で活動する脚本家，俳優，ダンサー
講師：有門正太郎氏

(2) 親子芸術体験事業（決算額 9,377千円 うち福岡公演に係る経費 4,010千円）

来場者：281人

KAAT神奈川芸術劇場が「不思議の国のアリス」をもとに創作したダンス公演を、他都市の文化芸術団体や劇場と連携して上演した。連携の主な効果として①経費の節減により、参加しやすい入場料で提供できたこと、②相互協力による広報面での幅広い告知ができたことなどが挙げられ、前売券は完売した。公演では、舞台と客席が融合した不思議な世界をつくり、夏休み期間中に子どもも大人も楽しめる質の高い文化芸術作品に触れる機会を創出した。

ダンス公演「不思議の国のアリス」

開催日：平成30年8月18日（土），19日（日）（2回公演）

会場：福岡市科学館サイエンスホール

演出・振付・美術：森山開次氏

出演：森山開次氏，辻本知彦氏，島地保武氏，下司尚実氏，引間文佳氏，
まりあ氏

衣装：ひびのこづえ氏

入場料：おとな 3,000円，子ども（4歳～高校生）1,000円

2 伝統芸能事業（決算額 2,829千円）

来場者：568人

伝統芸能が幅広い市民の関心を集め身近なものとなるよう、歌舞伎への理解を深める入門講座と、福岡発祥の筑前琵琶と現代音楽・映像とのコラボレーションによるオリジナルの新作公演を行ない、ともに新たな鑑賞者の獲得と伝統芸能の振興を図った。

- (1)「歌舞伎入門講座」 来場者：99人
開催日：平成30年6月3日（日）
会 場：あじびホール
講 師：葛西聖司氏（元NHKアナウンサー）
入場料：1,500円

(2)「筑前琵琶ライブシアター 音と映像で魅せる、平家物語」

- ①舞台公演 来場者：440人
開催日：平成30年11月10日（土）（2回公演）
会 場：福岡市科学館サイエンスホール
出 演：尾方蝶嘉氏，高木青鳳氏（筑前琵琶）
音 楽：高橋英明氏
映像監修：黒岩俊哉氏
入場料：一般 2,000円，ユース（25歳以下）1,000円

- ②関連企画 古川日出男×高木青鳳「平家物語を知ろう」 参加者：29人
開催日：平成30年11月8日（木）
会 場：ブックスキューブリック箱崎店
出 演：古川日出男氏（作家），高木青鳳氏（筑前琵琶）
入場料：2,000円（1ドリンク付）

3 エイブル・アート事業（決算額 1,569千円） 参加者・入場者：延べ1,279人

障がい者演劇という演劇の新たな分野を福岡市で確立していくための基盤づくりと実践の場として、前年度の「身体に障がいのある人の俳優講座」の参加者と、演劇経験のある高齢者による舞台作品をNPO法人と共働で創作・上演した。作品は、太宰治の原作をベースにしながら、随所に障がい者の日常風景を切り取ったショートストーリーや電動車いすによる疾走感のある演出等を挿入するなど、特徴のある舞台作品となった。

また、九州大学ソーシャルアートラボと連携して、障がい者の芸術活動を支援する人材の育成に取り組み、作品の創作から上演当日まで裏方として関わるスタッフを公募し、実践的な人材の育成を図った。

また、特別支援学校にアーティストを派遣するモデル事業も行った。

- (1)「走れ！メロス。」舞台公演 参加者・入場者：延べ1,232人
創作期間：平成30年7月21日（土）～12月20日（木）（この間に41日間実施）
公 演 日：平成30年12月21日（金）～23日（日）（3回公演）
会 場：ゆめアール大橋大練習室
構成・演出：倉品淳子氏（山の手事情社）
入 場 料：2,000円

(2) 特別支援学校へのアーティスト派遣

参加者：2校 / 47人

アーティスト：岩下 徹氏（舞踏家），新井理恵子氏（ちんどん「鈴乃家」），
佐久間 新氏（舞踏家），河合拓始氏（ピアニスト・作曲家）

実施校：2校

実施学年：小学部

4 地域での文化振興事業（決算額 2,675千円）

来場者：1,277人

市民が身近な会場で気軽に文化芸術と触れ合い、心豊かな市民生活の実現に寄与することを目指し、子どもも大人も楽しめる音楽公演とダンスの新作公演を実施した。

特に平成29年度から開始した音楽公演「FFACおんがくさんぽ」は、乳幼児が入場できる公演に限られる中、0歳から入場でき、親子で参加しやすい条件の揃ったコンサートとして定着し、前売券は完売するなど好評を博した。

(1)FFACおんがくさんぽ

①vol.4 「親子で楽しむ弦楽五重奏」

来場者：500人

開催日：平成30年7月28日（土）

会場：早良市民センターホール

出演者：九州交響楽団メンバー

（佐藤仁美氏，荒川友美子氏，猿渡友美恵氏，重松恵子氏，井上貴裕氏）

入場料：一般 1,000円，中学生以下 500円，膝上の場合無料

②vol.5 「親子で楽しむ あいうえオペラ」

来場者：465人

開催日：平成30年12月15日（土）

会場：博多市民センターホール

出演者：西日本オペラ協会「コンセル・ピエール」

入場料：一般 1,000円，中学生以下 500円，膝上の場合無料

(2)ダンス公演 「スバラシキアイマイナセカイ」

来場者：312人

開催日：平成30年12月8日（土），9日（日）（2回公演）

会場：福岡市科学館サイエンスホール

振付・演出：古家優里氏

出演：プロジェクト大山，キッズパフォーマー21名

入場料：一般 3,000円，学生（中学生以上）2,000円，3歳～小学生 1,000円ほか

5 文化交流促進事業（決算額 1,603千円）

来場者・参加者：2,163人

国内外の多種多様な舞台芸術に触れる機会を広く市民に提供し、文化芸術の持つ創造性や多様性、個性等を体感することを通じて、国内外の相互交流、相互理解を促進した。

(1) 福岡ダンスフリンジフェスティバルvol. 12 (決算額 1,090千円)

来場者・参加者：650人

日本・韓国・中国などアジアを中心に過去最多の世界16か国・地域から応募された129作品の中から、選りすぐりの作品を6日間にわたり上演し、多種多様なコンテンポラリーダンスと旬な作品を鑑賞できる貴重な機会を市民に提供するとともに、このうち14作品（延べ）は海外などのダンスフェスティバルへの招聘につながった。また、国内外のゲストを招いたトークセッションや地元活動者・一般市民を対象とした出演者によるダンスワークショップも開催し、国を超えた発表の場、ゲストや出演者、観客相互の交流の場も創出した。

①ダンス公演

来場者：584人

開催日：平成31年1月29日（火）～2月3日（日）

会場：ぽんプラザホール、あじびホール

内容：公募選出22作品と海外招聘3作品の計25作品を上演

出演者国・地域名：日本、韓国、中国、台湾、シンガポール、スペイン、カナダ、アメリカ、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、ポルトガル、アルゼンチン、タンザニア

入場料：一般 3,000円、フリーパス 7,500円～15,000円（公演数により変動）

②トークイベント

来場者：53人

開催日：平成31年2月1日（金）

会場：冷泉荘多目的スペース

出演者：チャン・グァンリョル氏、ユク・ワンスン氏ほか

参加料：無料

③ワークショップ

参加者：13人

開催日：平成31年2月2日（土）

会場：ゆめアール大橋大練習室

内容：奥山ばらば氏による経験不問のダンスワークショップ

参加料：2,000円

(2) 福岡きびる舞台芸術祭 (決算額 513千円)

来場者・参加者：1,513人

福岡市の音楽・演劇練習場施設の指定管理者、NPO法人と連携して、国内8団体を招聘して演劇公演、交流会などを実施し、演劇の魅力を広く発信した。福岡初公演の団体もあり、市民が多様な演劇作品に触れる機会を提供するとともに、地元演劇関係者が各劇団の特徴ある演出や表現手法等を体感する場を創出した。

また、統一テーマによるリレートークセッションなどを通じて、劇団相互や劇団と観客との交流促進を図った。

①演劇公演

来場者：1,370人

開催日：平成31年1月12日（土）～2月17日（日）

会場：ぽんプラザホール、パピオビールーム、なみきホール、ゆめアール大橋

内 容：8団体の作品を計30回上演

出演者：劇団こふく（宮崎），劇団きらら（熊本），ヒカリノオト（福岡），
コトリ会議（大阪），彗星マジック（大阪），下鴨車窓（京都），
劇団チョコレートケーキ（東京），柴田智之一人芝居（札幌）

入場料：一般 2,300円～3,000円，共通チケット 12,000円 ほか

②キビるトーク「なんでそれ，やってんの？」 参加者：92人

開催日：平成31年2月9日，13日，16日（3回開催） *公演に引き続き実施

会 場：パピオビールーム，なみきホール，ゆめアール大橋

登壇者：大澤寅雄氏，宮田智史氏，参加団体代表者ほか

参加料：無料

③キビるカフェ 参加者：51人

開催日：平成31年1月13日，2月2日，9日，11日，17日 *公演に引き続き実施

会 場：公演会場周辺のカフェ

内 容：柴山麻妃氏が進行役となり，観劇後の感想を観客同士で共有

参加料：無料

第2 市民の文化芸術活動の支援

1 第55回福岡市民芸術祭（決算額 18,838千円） 来場者・参加者：128,866人

市民の文化芸術活動の発表の場，身近に文化芸術に触れ合う場として，音楽・舞台芸術・美術・伝統芸能など幅広い文化芸術団体が参加する総合的な文化芸術の祭典である市民芸術祭を開催した。

(1)参加行事

来場者・参加者：126,284人

芸術祭期間中に市内で開催される市民団体による文化芸術活動を市民芸術祭参加行事として認定し，一体的な広報で周知を図るとともに，市民芸術祭奨励金の交付や福岡市立施設の優先予約，施設利用料の減免等の支援を行った。

特に，広報については，タイトルロゴマークを制作し，のぼりやパンフレット，ポスター等全ての広報物で展開するなど，市民芸術祭を統一的なイメージで発信するとともに，ホームページに応援コメント・応援ボタン機能を付け，Webサイト・SNSでの発信も強化し，より多くの市民に市民芸術祭の情報が届き，文化芸術に親しむ機会が増えるよう取り組んだ。その結果，過去20年間で最多の来場者・参加者を記録した。

開催期間：平成30年10月1日（月）～12月31日（月）

参加行事：134行事（音楽66，美術・パフォーマンス19，演劇9，舞踊6，

伝統芸能7，文芸11，メディア芸術2，生活文化4，その他10）

(2) オープニングイベント

来場者：1,263人

300年続く日本の伝統文化である線香花火の儂くも美しい世界観を「現代サーカス」と「日本伝統芸能」による“ノンバーバル”演出で舞台化に挑戦し、多様な市民が参加する市民芸術祭の幕開けを飾った。

会場ロビーでは芸術祭全体のPRと各参加行事のPRを行い、市民芸術祭の周知を図った。なお、終演後に出演者全員による自然災害被災地への募金を呼びかけた。

舞台公演「線香花火」

開催日：平成30年9月26日（水）

会 場：福岡市民会館大ホール

出 演：谷口 界氏（アクロバット）、ハチロウ氏（ジャグリング）、船木勇佑氏（スキッピング
ロープ）、中島美紀氏（書道）、森永基木氏（津軽三味線）、山崎箒山氏（尺
八）ほか

入場料：無料

(3) メイン事業

来場者・参加者：1,319人

市民芸術祭を盛り上げるメイン事業として、日本最古の物語文学「竹取物語」を、セリフ劇を超越した独自の演出スタイルで注目を集める小野寺修二氏が、現代演劇・能・ダンス・打楽器演奏など様々な要素を取り入れた「現代能楽集」として現代に甦らせた。市民芸術祭のメイン事業として相応しい質の高い演目を、他都市文化芸術団体や劇場と連携することにより、参加しやすい価格で提供した。

また、出演者による市民向けのワークショップや小学校5校へのアーティスト派遣も実施し、公演に加えて幅広い市民に文化芸術に触れる機会を創出した。

（学校へのアーティスト派遣については、子ども文化芸術魅力発見事業で報告）

① 現代能楽集「竹取」

来場者：1,218人

開催日：平成29年10月27日（土）、28日（日）（2回公演）

会 場：東市民センター なみきホール

構成・演出：小野寺修二氏

出 演：小林聡美氏、貫地谷しほり氏、小田直哉氏（舞踏家）、崎山莉奈氏（ダン
サー）、藤田桃子氏（ダンサー）、古川玄一郎氏（打楽器奏者）、佐野 登
氏（能楽師）

企画・監修：野村萬斎氏

入場料：S席3,500円、A席2,500円、ユース（18-25歳）2,000円、子ども1,000円

② ワークショップ

参加者：延べ101人

開催日：平成30年7月12日～13日、10月29日～31日（5回実施）

会 場：なみきスクエア、パピオビールーム、ゆめアール大橋

対象者：一般市民（経験者向けと経験不問に分けて実施）

進行役：カンパニーデラシネラ・小野寺修二氏ほか、大駱駝艦・小田直哉氏

参加料：1,000円

2 第52回福岡市華道展（決算額 560千円）

来場者・参加者：8,217人

日本が世界に誇る伝統芸術「華道」の魅力を多くの人に伝え体感してもらうため、市内を代表する21会・流派合同による華道展を開催した。展示に加え、子どもや男性を対象とした、いけばな体験教室も開催するなど、華道に気軽に親しむ機会も創出した。

また、福岡市が推進する「一人一花運動」とも連携し、パネルの展示やPR活動を行った。

(1) いけばな展示

来場者：8,147人

開催日：平成30年5月23日（水）～28日（月）

会場：アクロス福岡2F交流ギャラリー，メッセージホワイエ，1Fアトリウム

参加団体：21流・会派

作品数：233点

入場料：無料

(2) 体験教室

①「親子いけばな体験教室」

参加者：47人

開催日：平成30年5月26日（土）2回開催

会場：アクロス福岡2Fセミナー室

参加料：大人1,000円，子ども500円

②「男前な華道！～男子限定のいけばな体験」

参加者：23人

開催日：平成30年5月26日（土）

会場：アクロス福岡2Fセミナー室

参加料：1,000円

3 FFACステップアップ助成プログラム（決算額 4,117千円）

助成団体：14団体・個人，来場者・参加者：5,511人

福岡市において文化芸術活動を行い、今後の活躍が期待される団体・個人で、応募の中から14団体・個人を選定し、さらなるステップアップに繋がる活動、市民に文化芸術に触れる機会を提供する活動、新たな活動の担い手を育成する活動を対象に、経費の一部助成や専門アドバイザーによる助言、広報等の支援を行うとともに、実施後の報告会において、フォローアップ支援を行った。

本プログラムに採択されたことで、活動の規模拡大や実施回数の増加、質の向上等が図られたほか、スポンサーの獲得や展覧会への招聘につながった事例も出てくるなど、対象団体・個人の成長とともに、市民が文化芸術に触れる機会の増加という成果が見られた。

(1) 助成概要

件数：14事業（応募件数：24事業）

助成額：3,315千円

(2) 助成対象団体・個人と実施内容

【創造活動部門】 6事業

- ①（美術）「百年前博多っ子が描いて夢野久作が集めた自由畫展」 来場者：880人
申請者：ハカタ・リバイバル・プラン
助成金：250千円
開催日：平成30年8月1日（水）～8月31日（金）
会場：登録有形文化財「高橋家住宅」

- ②（ダンス）「Youth Dream Support Project 夢」 来場者・参加者：333人
申請者：A Project Fukuoka
助成金：325千円
開催日：平成30年8月26日（日）
会場：東市民センターなみきホール

- ③（演劇）「劇団ZIG. ZAG. BITE2018秋公演」 来場者：572人
申請者：劇団ZIG. ZAG. BITE
助成金：100千円
開催日：平成30年9月22日（土）～26日（水）（8回）
会場：ぽんプラザホール

- ④（演劇）TEAM LOCO 10th stage 『SHOW MUST GO ON』 来場者：600人
申請者：TEAM LOCO
助成金：360千円
開催日：平成30年11月29日（木）～30日（金）（2回）
会場：福岡市科学館サイエンスホール

- ⑤（音楽）「第5回 福岡ジルベスターコンサート2018」 来場者・参加者：926人
申請者：福岡ジルベスターコンサート実行委員会
助成金：325千円
開催日：平成30年12月31日（月）～平成31年1月1日（火）
会場：福岡サンパレスホール

- ⑥ (美術) 飛島達也 新写真展 来場者・参加者：747人
申請者：飛島達也氏
助成金：500千円
開催日：平成31年2月15日(金)～28日(木)
会場：登録有形文化財「高橋家住宅」

【文化団体等活動支援部門】 4事業

- ① (演劇) 「葉の恋」 来場者：88人
申請者：小合静世氏
助成金：100千円
開催日：平成30年8月25日(土) (2回公演)
会場：アクロス福岡円形ホール
- ② (音楽) 「平和のたねコンサート ぼだい樹の唄がきこえる」 来場者：33人
申請者：笑顔のたね
助成金：60千円
開催日：平成30年8月25日(土)
会場：レストランゆずのき(社会福祉法人 柚子の木福祉会)
- ③ (音楽) 「Piano Story リサイタルシリーズvol.4 スイスロマンドトリオ」
来場者：148人
申請者：Piano Story
助成金：100千円
開催日：平成30年10月5日(金)
会場：あいれふホール
- ④ (音楽) 「福岡市国際作曲家会議 第1回プロジェクト」 来場者：67人
申請者：福岡市国際作曲家会議
助成金：100千円
開催日：平成30年11月28日(水)
会場：あいれふホール

【人材育成・環境整備部門】 4事業

- ① (演劇) 「ガラパ×Platform vol.1」 来場者・参加者：136人
申請者：万能グローブガラパゴスダイナモス
助成金：250千円
開催日：平成30年8月22日(水)～25日(土) (ワークショップ2日, 公演2回)
会場：パピオビールーム, 甘棠館Show劇場

- ② (美術) 福岡市内での二人展, 個展のキュレーション 来場者・参加者: 641人
 申請者: 正路佐知子氏
 助成金: 300千円
 開催日: 平成30年10月12日(金)～28日(日), 11月2日(金)～18日(日)
 会場: konya-gallery
- ③ (演劇) 演劇創作プロジェクト1st 戯曲講座 参加者: 延べ46人
 申請者: キューズリンク
 助成金: 129千円
 開催日: 平成30年11月11日(日)～17日(土) (基礎編1日, 実践編6日)
 会場: 市民会館練習室Aほか
- ④ (演劇) ギルド演劇Fes' 19 来場者・参加者: 261人
 申請者: ライトスタッフギルド福岡本部
 助成金: 416千円
 開催日: 平成31年2月22日(金)～24日(日) (5回公演)
 会場: あじびホール

- (3) 報告会 参加者: 33人
 対象団体・個人が実施内容の報告を行い, 専門アドバイザーから直接助言を受ける場を設けた。報告会の参加対象を拡大し, 広くこの事業に関心を持つ活動者間の意見交換・ネットワークづくりの場を創出するなどジャンルを超えた交流を促進するとともに, 互いに切磋琢磨し, さらなるステップアップを目指す機運を醸成した。
 開催日: 前期報告会 平成30年11月11日(土)
 後期報告会 平成31年 3月16日(土)
 参加者: 本プログラム応募団体・個人
 会場: 福岡県消防会館会議室, 福岡市職員研修センター
 参加料: 無料

第3 情報発信事業の推進

1 文化芸術資源収集活用事業 (決算額 964千円 ※美術品等購入費)

福岡市民の貴重な財産となる美術品, 博物館資料を, 福岡市美術館, 福岡アジア美術館, 福岡市博物館と共働して収集し, 展示を通して市民が多様な文化芸術資料を身近に鑑賞する機会を創出した。

| | | |
|------------|----|------------|
| ■購入件数及び総額: | 9点 | 963,600円 |
| ■売却件数及び総額: | 8点 | 8,084,000円 |

福岡市美術館

売却：油彩「手の残像」ほか 計 6点 (計 6,090,000円)

福岡市博物館

購入：美術「故事人物図巻」ほか 計 9点 (計 963,600円)

売却：絵画「黒田長政像」ほか 計 2点 (計 1,994,000円)

2 文化芸術広報事業 (決算額 5,872千円)

(1) 文化情報発信事業 (決算額 3,172千円)

①財団機関誌「wa」の発行

財団事業をわかりやすく伝えるとともに、人・事・場所等の紹介を通して福岡の文化芸術ファンを増やし、福岡の文化芸術の情報発信力向上の一翼を担った。

■発行状況：年3回(6月, 9月, 1月)発行

20,000部(6月号, 1月号) 27,000部(9月号)

◎wa78・夏号

[Pick up Artist] とよだ まりさ氏(画家・僧侶)

[財団事業] 不思議の国のアリス, アーティストとつくる,
FFACおんがくさんぽ vol.4

[アートトリップ] 福岡市アジア美術館 アートカフェ

[先生の虫めがね] 久世 安俊氏(近畿大学九州短期大学 教授)

◎wa79・秋号

[財団事業] 博多旧市街まるごとミュージアム, 竹取, 福岡市民芸術祭,
筑前琵琶ライブシアター, すばらしき あいまいな世界,
わの会イベント, グッズ

[先生の虫めがね] 長津 結一郎氏(九州大学大学院 助教)

◎wa80・冬号

[Pick up Artist] 池田 ひとみ氏(美術作家)

[財団事業] ダンスフリンジフェスティバル, キビるフェス, わの会

[アートトリップ] 福岡市美術館 リニューアルオープン

[先生の虫めがね] 須川 渡氏(福岡女学院大学 講師)

②ホームページ及び文化情報コーナー等による情報発信

財団ホームページ及び福岡市文化プログラム*情報サイト並びに文化情報コーナー「アトリエ」を運営し、情報収集と発信を行った。

また、個人に向けたメールマガジンの定期的な配信やSNSを活用したタイムリーな情報提供、メディア向け月刊ニューズレターの発行による取材呼びかけなど、多チャンネルによる発信を行った。

[財団ホームページ] 訪問数：61,563件
[福岡市文化プログラム情報サイト] 訪問数：31,044件
[メルマガ配信] 毎週木曜日発信 登録者数：3,356人

※福岡市文化プログラム：国において、東京五輪に向けて全国で様々な主体による日本文化の魅力を発信する事業を「文化プログラム」として、オールジャパンで推進していくこととしている。福岡市においても、この国の動きと連動し、福岡の歴史・文化の魅力を広く発信することを目的とした「福岡市文化プログラム」を展開している。

(2) まるごとミュージアム事業 (決算額 2,700千円)

歴史ある博多旧市街において、現代アート作品を展示する屋外型アートイベント「まるごとミュージアム」を福岡市と共催した。

開催日：平成30年10月31日(水)～11月4日(日)

会場：出来町公園，龍宮寺，「博多町家」ふるさと館，冷泉公園，博多座，川端通商店街，福岡アジア美術館

3 文化芸術普及事業 (決算額 8,501千円)

福岡市美術館及び福岡アジア美術館，福岡市博物館の収蔵品をモチーフとしたオリジナルミュージアムグッズや三館収蔵品等に関する図録・叢書等の製作，販売を行い，三館の魅力や所蔵の文化芸術資料等のPR・広報を推進した。

特に，京都で開催された「京のかたな展」(平成30年9月29日～11月25日)において展示された刀剣の関連グッズの売り上げは，3,867点 1,420千円となった。

(1) 主な売上

①金印グッズ(レプリカ，スタンプ，ストラップほか) 計7,535点 5,883,521円

②刀剣グッズ(日本号クリアファイル，圧切長谷部絵はがきほか)
計9,662点 2,151,569円

(2) 平成30年度 新規販売グッズ等および売上

①福岡市博物館グッズ(妖怪グッズ(一筆箋2種類，鉛筆，クリアファイル，透明シール，缶バッジ)，金印マグネット3種)
計 1,628点 460,124円

②福岡アジア美術館(ブー・ホアグッズ(マグカップ，ふろしき，クリアファイル)，
図録アジアコレクション100) 計 167点 297,822円

③FUKUOKA OSANPO bag4(黒) 計 338点 275,600円

④福岡市美術館(図録「ザ・ベスト」) 計 93点 232,500円

4 賛助会「わの会」事業 (決算額 339千円)

「市民の芸術鑑賞機会の増大」及び「福岡市の文化芸術活動の振興」を目的とした，財団の賛助会制度である「わの会」事業を推進した。

(1) 会員・会費

- ・個人会員 年会費 1,800円※（全期） 1,500円（半期）
- ・法人会費 年会費 10,000円（全期）

※個人会員の全期年会費について、平成28年度までは2,000円であったが、平成29年度及び30年度は福岡市美術館が休館となったため、1,800円としていたもの。なお、平成31年度は、福岡市美術館のリニューアルオープンに伴い、2,000円としている。

(2) 会員特典

- ・福岡アジア美術館及び福岡市博物館の常設展並びに九州産業大学美術館の無料観覧
- ・財団及び福岡アジア美術館、福岡市美術館、福岡市博物館の機関誌や文化芸術情報等の定期送付（年4回）
- ・福岡市総合図書館映像ホール「シネラ」の入場料割引
- ・会員限定や優待の講座、イベント開催
- ・市外の美術館など提携施設の入場料割引等

(3) 会員数

- ・個人会員：306人
- ・法人会員：2団体

(4) 講座・イベント

①華道展関連イベント「男前な華道！」

開催日：平成30年5月26日（土）

会場：アクロス福岡

参加者：3人

②わの会講座「博多ガイドの会と行く旧市街博多の地獄極楽めぐりツアー」

開催日：平成30年10月17日（火）

会場：承天寺他

参加者：20人※

③和の博多弦楽四重奏

開催日：平成30年9月29日（日）

会場：承天寺

参加者：50人※

④新春ミュージアムコンサート

開催日：平成31年1月24日（木）

会場：福岡市博物館

参加者：約150人※

「※」は一般参加者を含む数